

浅井家文書目録

【史料概要】

宇土藩士・浅井家に残された文書群。浅井家初代・重信は、本家の浅井九郎左衛門重治の次男として生まれ、初代宇土藩主・細川行孝の小姓として召し出され、50俵10人扶持を与えられ目付や御膳番を務めた。2代藩主・有孝の時代に病気のため家臣を辞したものの、元禄13年(1700)に帰参して知行100石で奉行役や御昇頭を務めた。2代目・信方、3代目・信保、4代目・信温、5代目・信英、6代目・信熙と続き、7代目・角七の時に維新を迎えた。現存する知行宛行状を見ると、代々下益城郡内に知行70石(擬作知行)を与えられている。5代目・信英の次男・重喬(隠居後に無牽と号す)は浅井本家の養子となり、明治2年に宇土藩家老本役に就いている。7代目・角七の三男・寅熹は熊本師範学校卒業後、教員となり宇土地域の近代教育や文化振興に大きく貢献した。寅熹の事績については、下田曲水『浅井寅熹先生』(昭和37年)に詳述されている。名前の表記については、史料によっては「寅喜」と書かれているものもあるが、正しくは「寅熹」である。当該文書群に含まれる文人の漢詩や政治家の書簡類は寅熹が収集したものである。寅熹の長男・正夫は、熊本中学卒業後、広島高等師範学校に進み、広島で教員となった。広島市の修道中学校教員時代の昭和20年8月6日に被爆し妻子を亡くしている。戦後帰郷し熊本の戦後教育に尽力した。

なお、浅井家文書の一部(浅井寅熹氏蒐集の旧宇土藩政文書91点)は昭和33年に浅井正夫氏により熊本大学に寄贈されている(浅井文庫)。

史料番号	年月日	史料名	作成者	宛名	内容
1-1	明和7年8月	細川興文知行宛行状	中務興文(5代藩主)	浅井角七	下益城郡内に70石遣わす
1-2	安永3年8月	細川立礼知行宛行状	和泉立礼(6代藩主)	浅井角七	下益城郡内に70石遣わす 包紙「御代替二付安永三年霜月十五日於御書院御前芦田瀬兵衛相渡候」
1-3	享和2年8月	細川立礼知行宛行状	和泉立礼(7代藩主)	浅井文内	下益城郡内に70石遣わす 包紙「享和二年戌十一月朔日頂戴於御書院御前井門次郎左衛門相渡候」
1-4	文政3年8月	細川立政知行宛行状	中務立政(8代藩主)	浅井文左衛門	下益城郡内に70石遣わす 包紙「御代替二付文政三年辰之八月御書院於御前頂戴之、井門次郎左衛門相渡候事」
1-5	文政11年8月	細川之壽知行宛行状	中務之壽(9代藩主) (後に行芬と改名)	浅井文左衛門	下益城郡内に70石遣わす 包紙「御代替二付文政十一年子ノ十月朔日於御書院御出座二而井門次郎左衛門相渡頂戴之也」
1-6	天保12年正月	細川行芬知行宛行状	豊前行芬(9代藩主)	浅井角七	下益城郡内に10石加増し、合わせて70石遣わす 包紙「天保十三年寅ノ十二月廿八日於御書院御前頂戴之、井門大之助相渡」
1-7	(年不詳)正月3日	細川之壽書状	中務之壽(9代藩主) (後に行芬と改名)	浅井角七	跡目相続として父の遺領60石遣わす
1-8	(年不詳)8月9日	細川行芬書状	豊前行芬(9代藩主)	浅井角七	家督相続の節の分10石を返し遣わす
1-9	嘉永5年8月	細川立則知行宛行状	山城立則(10代藩主)	浅井角七	下益城郡内に70石遣わす

史料番号	年月日	史料名	作成者	宛名	内容
1-10	文久2年8月	細川行真知行宛行状	主米輔行真(11代藩主)	浅井角七	下益城郡内に70石遣わす
1-11		御短冊	(宇土藩主)	浅井徳右衛門	包紙「御短冊 拝領 浅井徳右衛門」
2-1	明治43年4月22日	幽齋公歌集(印刷)	著作・発行:松岡元義 印刷所:北原活版所		幽齋公300年祭にあたり公の遺績を追慕し、これを世に伝えるため和歌を収集したもの
2-2	明治24年7月13日	細川幽齋公御詠			
3		肥宇八景(漢詩)	細川興生(号梅山)		箱入・卷子装 箱貼紙「拾番 梅山様御筆」
4		名士詩巻(一)			1.櫻織漢詩(甲申元日:文政7年) 2.蘇門漢詩 3.海敏漢詩 4.池邊謙(丹陵)漢詩 5.佐藤惺軒漢詩 6.井桃漢詩 7.芳徳(水津熊太郎)漢詩
5		名士詩巻(二)			1.海杜多漢詩 2.井瑜漢詩 3.藤景治漢詩 4.江邨宗実漢詩
6		名士詩巻(三)			1.安肅(安野南岳)漢詩 2.安肅(安野南岳)漢詩 3.村井焯漢詩 5.法海(僧日南)
7		詩文画			1.辛憲(明知雄一)漢詩 2.蘭痴(高山蘭痴)漢詩 3.浩潮漢詩 4.亭々散人(渡並見立)漢詩 5.高本紫溟詩 6.桑園写山水墨画
8		送別布田翁 寄題拵龍松			渋江公隆・江雀口・草野石瀨漢詩
9-1		詩稿			1.迂江聖人 2.清浦奎吾 3.栗山柴邦彦 4.(服部)南郭
9-2	昭和	(メモ書き)			No.9-1の手書き釈文(ペン書き) 服部南郭・古賀精里・柴野邦彦・尾藤二洲に関する手書きの説明(ペン書き)

史料番号	年月日	史料名	作成者	宛名	内容
10	慶応元年閏5月	記夢(漢詩4通)	城野静軒		記夢二首・記同十六夜夢・又一首・記同二十七夜夢
11		笑世辞 歌書			1.笑世辞(百華園主人 浄行寺第14世) 2.歌書(管沼安隆 鶴城学館教員) 3.歌書(吉永千秋 藤崎八幡宮祠官)
12-1	(年不詳)11月1日	古荘嘉門書簡	古荘嘉門	田中・江嶋両大兄	12-1～2は卷子に合装
12-2	(年不詳)7月25日	安達謙蔵書簡	安達謙蔵	能田益貴	自叙伝編纂について
13-1	年月日不詳	三条実美書簡	三条実美	細川越中守	13-1～5は卷子に合装
13-2	(年不詳)11月28日	金子堅太郎書簡	金子堅太郎	伊藤侯爵(博文)	13-1～5は卷子に合装
13-3	(年不詳)9月14日	陸奥宗光書簡	陸奥宗光		13-1～5は卷子に合装
13-4	(年不詳)5月24日	長岡監物	長岡監物	直三郎	13-1～5は卷子に合装
13-5	(年不詳)8月17日	元田永孚書簡	元田永孚	安場安和	13-1～5は卷子に合装
14-1	(年不詳)1月9日	安達謙蔵書簡	安達謙蔵	浅井	14-1～5は卷子に合装
14-2	(年不詳)9月24日	杵山茂書簡	杵山茂	浅井栄麿	14-1～5は卷子に合装
14-3	(年不詳)6月26日	野田寛書簡	野田寛		14-1～5は卷子に合装
14-4	(年不詳)9月22日	近藤樵仙書簡	近藤樵仙	浅井栄麿	14-1～5は卷子に合装
14-5	(年不詳)9月25日	冬青口書簡	冬青口		14-1～5は卷子に合装
15-1	近世中期	細川興文和歌「七夕」	細川興文		15-1～5は卷子に合装
15-2	(年不詳)9月4日	行徳拙軒書簡	行徳拙軒	浅井	15-1～5は卷子に合装
15-3	(年不詳)2月17日	行徳行徳書簡	行徳拙軒	浅井	15-1～5は卷子に合装
15-4	(年不詳)9月9日	宇野東風書簡	宇野東風	宗方大人	15-1～5は卷子に合装
15-5	昭和35年7月18日	大和忠三(初代宇土市長)礼状	大和忠三	浅井正夫	15-1～5は卷子に合装 轟泉再修碑原文寄贈に対する礼状
16-1	(年不詳)11月28日	宮小路浩潮書簡	宮小路浩潮	浅井	16-1～6は卷子に合装
16-2	明治21年9月7日	宮小路康文書簡	宮小路康文	浅井寅熹	16-1～6は卷子に合装
16-3	(年不詳)9月7日	宮小路浩潮書簡	宮小路浩潮	浅井・松本	16-1～6は卷子に合装
16-4	(年不詳)7月3日	岩崎奇一書簡	岩崎奇一	浅井寅熹	16-1～6は卷子に合装
16-5	(年不詳)7月25日	岩崎奇一書簡	岩崎奇一	浅井寅熹	16-1～6は卷子に合装
16-6	(年不詳)8月8日	岩崎奇一書簡	岩崎奇一	浅井寅熹	16-1～6は卷子に合装
17-1	(年不詳)12月17日	谷本富書簡	谷本富	浅井寅熹・藤井敬慎	17-1～2は卷子に合装

史料番号	年月日	史料名	作成者	宛名	内容
17-2	(年不詳)9月10日	谷本富書簡	谷本富	浅井寅熹・藤井敬慎	17-1~2は卷子に合装
18	大正13年調始	書画骨董録 甲号	看山亭主人(浅井寅熹)		浅井家所蔵の書画目録
19		書画骨董刀剣 乙号	看山亭主人(浅井寅熹)		浅井家所蔵の書画骨董刀剣目録
20		書画骨董録 丙号	看山亭主人(浅井寅熹)		浅井家所蔵の書画骨董目録
21	昭和36年6月以降	書画筆者調			浅井家所蔵の書画作者を調べたもの
22		巻軸筆者調			
23		短冊目録(作者調べ)			
24		掛軸筆者調			
25		碑文(一)(二)(三)			熊本県内の石碑のスケッチや銘文
26		碑文(四)			熊本県内の石碑のスケッチや銘文
27	大正14年1月1日	肥後書画名鑑 全	永田竹碧・林又熊共編		永田有明社発行
28		浅井家記録(1)(2)		原本は寄贈者に返却したためコピーのみ	(1)家譜・年譜、(2)浅井両家墓地、(3)祖先歿年次表、(4)宇土藩侍帳、(5)浅井寅熹先生に対する反響
29		浅井家墓地移転に関する記録		原本は寄贈者に返却したためコピーのみ	昭和46年に向ヶ峰墓地(宇土市)から浦山墓地(熊本市黒髪)に移転
30		浅井家掛軸写真		原本は寄贈者に返却したためコピーのみ	
31		浅井家に関するスクラップ	浅井正夫	原本は寄贈者に返却したためコピーのみ	(凡例)本篋は余自身を中心とし浅井家に関係ある新聞その他のスクラップを見当たり次第に蒐集するものである。
32		浅井正夫年譜		原本は寄贈者に返却したためコピーのみ	
33		八十翁回顧録(一)~(四)	浅井正夫	原本は寄贈者に返却したためコピーのみ	浅井正夫の回顧録
34-1	大正6年6月16日	效績状	熊本県宇土郡長 和田亨	宇土郡宇土尋常高等小学校訓導兼学校長 浅井寅熹	小学教育従事22年余り励精
34-2	大正11年11月12日	頌状	熊本県教育会	浅井寅喜	教育事業に尽瘁し文化発達に貢献
34-3	昭和3年10月20日	頌状	熊本県教育会	浅井寅熹	学校教育勤続30年以上
34-4	昭和29年3月20日	感謝状	宇土町長 細川立暢 宇土町教育委員長 大和真助	浅井寅喜	本校の教育発展

史料番号	年月日	史料名	作成者	宛名	内容
34-5	昭和29年3月20日	感謝状	宇土町長 細川立暢 宇土町教育委員長 大和眞助	元校長 浅井寅喜	本校の教育発展
35	昭和37年12月	手紙	浅井正夫		父・寅熹の伝記刊行いきさつ
36-1	(年不詳)正月28日	書状	宇太郎	弥三次	近況報告(江戸での出来事など)
36-2	(年不詳)9月26日	書状	崇山樵翁	城野静軒子	病氣見舞いの御礼
36-3		書状	宮門(澤村西坡)	弥三次	
36-4	(年不詳)4月11日	書状	町野玄肅(肥後藩医師)	城野仁兄	
36-5		雑			浅井正夫1月分俸給明細書、答案用紙など
37	(年不詳)11月8日	書状	俊道	影山先生	
38	(年不詳)正月22日	書状			
39		漢詩集			
40		伊東巳代治書簡	伊東巳代治	永井学兄(永井修平)	
41	天保8年正月6日	漢詩			藍溪 藤好善
42		漢詩	上田休		
43		漢詩	龍門		
44		漢詩	微妙		
45		漢詩	清風		
46	文政3年	漢詩「文政三年履端心」			城野静軒カ
47-1		漢詩			
47-2		漢詩			
47-3		漢詩			
47-4		漢詩			
48		漢詩			
49		漢詩			
50		漢詩			
51		墨画(武人図)			
52		漢詩			
53		蔦光写経			正信念仏偈
54		漢詩	余田天涯		

史料番号	年月日	史料名	作成者	宛名	内容
55		書「感」			
56-1		亜墨利加船大将ヘルリ画像			
56-2		副将アワダムス画像			
57-1		菅原道真画像(刷り物)			版權所有 東京赤坂新町五丁目四十番地 儉養館
57-2		菅原道真画像(刷り物)			版權所有 東京赤坂新町五丁目四十番地 儉養館
58		加藤清正画像(刷り物)	肥後本妙寺		包紙「御陣立 御影 肥後本妙寺」
59	明治10年6月	楠正成之墓碑縮図(刷り物)			
60		役者絵(印刷)	鳥居忠雅		
61		船板観音像(版画)			
62	(延宝年間)	宇土屋敷絵図写(掛幅装)	井上正写		昭和期に宇土の郷土史家・井上正氏が筆写したもの
63	明治21年4月15日	浅井無牽肖像画(油彩)			額装・箱入り 額裏「浅井弥門口口人之像 明治二十有余年東口謹寫」 箱蓋墨書 (表) 浅井無牽七十四歳之肖像 明治二十一年四月十五日寫 (裏) 寫之而傳子孫